



発行 社会福祉法人 沖縄県身体障害者福祉協会
 編集 沖縄県障害者社会参加推進センター
 〒901-0516 沖縄県島尻郡八重瀬町字仲座 1038 番地 1
 TEL(098)851-3455 FAX(098)851-3855
 ホームページアドレス <http://www.okisin.jp>
 Eメールアドレス okisinky@blue.ocn.ne.jp
 頒価一部100円(会費に含まれています)

沖縄県障害者社会参加推進センターだより 第51号

第58回 沖縄県身体障害者福祉展

平成30年11月14日(水)~17日(土)の4日間、浦添市美術館にて『第58回沖縄県身体障害者福祉展』を開催しました。県内各地から27団体236点の出展があり、個性あふれる表現豊かな作品が会場を彩り、来場者の方々を魅了していました。初日の14日(水)はオープニングセレモニー・テープカット式を行い、テレビやラジオ等離島含む県内のマスコミ8社が記事に取り上げてくれました。



メディアの影響力はかなり大きなもので、『テレビで見た作品だ!』という声が連日のように聞こえ、来場者は過去最高の700名を超え、大きな盛り上がりを見せました。



スポットライトやショーケースに飾られた自分の制作品を見て喜んでくれている作者やそのご家族、関係者の皆さまの姿が何よりも成功の証だと感じています。

開催にあたり多大なるご協力をいただきました浦添市をはじめ、浦添市美術館の皆さま、関係機関・団体の皆さま、本当にありがとうございました。



入賞者一覧(敬称略)

部門	賞	氏名	作品名	団体名
絵画部門	金賞	島袋 俊哉	今帰仁城跡の絵	今帰仁村
	銀賞	伊佐 眞昭	犬岩と古宇利島	今帰仁村
	銅賞	兼島 俊夫	池をのぞいて「何かいるの?」	那覇市身協
	奨励賞	玉城 彩	ディズニールランドの清掃員	西崎特支
	奨励賞	儀間 政信	沖縄のさかなたち	ハンディーサポートふれんど
工作部門	金賞	吉永 安行	ひまわり	仁愛療護園
	銀賞	前原 たづ子	BAG	あいとびあ
	銅賞	南風原 照子	石橋	浦添市身協
	特別賞	うるま市聴覚部会	うるま龍(合作)	うるま市身協
	奨励賞	高江洲 美智子	さあ、始めよう!	仁愛療護園
写真部門	金賞	友利 敏幸	夕日をミタクテ	那覇市身協
	銀賞	川満 昭男	ダイサギ	糸満市身協
	銅賞	宇良 英子	やんばるの風景	仁愛療護園
	奨励賞	松本 修	一夜の花見会	浦添市身協
	奨励賞	高江洲 美智子	散歩中のヒトコマ	仁愛療護園
書道部門	金賞	豊里 友貞	江山清趣	那覇市身協
	銀賞	伊志嶺 清一	雲從龍風從夷	那覇市身協
	銅賞	上江洲 哲郎	温故知新	那覇市身協
	奨励賞	上原 洋子	雲帰山水帰海	那覇市身協
	奨励賞	知念 啓一	夢	コロニー
陶芸部門	金賞	仲本 勉	シーサー	コロニー
	銀賞	砂川 健雄	壺	コロニー
	銅賞	名城 秀光	壺	コロニー
	奨励賞	仲村 宮子	花ばち	那覇市身協
	審査員賞	渡口 聡美	馬	びゅあ
縫製部門	審査員賞	屋比久 愛美	ツリー	びゅあ
	金賞	具志堅 淳子	スーツ	更生777
	銀賞	下地 智子	人形	糸満市身協
	銅賞	上原 弘子	バック	ソフィア
	特別賞	花咲みメンバー	ベッドカバー	あいとびあ

沖縄県視覚障害者福祉協会

第33回

沖縄県視覚障害者サウンドテーブルテニス大会

平成30年10月28日(日)浦添市のサンアビリティーズうらそえにおいて『第33回沖縄県視覚障害者サウンドテーブルテニス大会』を開催しました。当日は離島を含め、県内各地から団体・個人を合わせて30名の選手が参加。

午前中は団体の部をおこない、那覇市、南風原町、沖縄市、うるま市の4団体がエントリーし、決勝戦では那覇市が3-0で沖縄市を下し、優勝しました。



午後からは個人の部をおこないました。今大会、個人の部で上位入賞した選手は、来年、福岡市で開催される「第47回九州視覚障害者サウンドテーブルテニス大会」派遣の選考対象選手となります。対象となります選手の皆さんは、来年の九州大会に向けて更なるレベルアップに励んで頂きたいと思います。



開催にあたり、会場を使用させて頂いたサンアビリティーズうらそえをはじめ、関係機関、ボランティアの皆様、誠にありがとうございました。

【大会結果】

団体の部	1位 那覇市	2位 沖縄市
全盲男子の部	1位 當山政秋	2位 狩俣昌勝
全盲女子の部	1位 安慶名久子	2位 屋我末子
弱視女子の部	1位 又吉肖子	

沖縄県聴覚障害者協会

平成30年9月16日(日)、沖縄県総合福祉センター403研修室にて「旧優生保護法」に関する学習会を行いました。参加者61名でしたが、対岸の火事ではなく実に身近に差別問題が含まれていることを思わせるような内容でした。



まず、ゆい法律事務所の弁護士 林千賀子氏を講師に招いて熱弁してもらいました。

「旧優生保護法」と「優生保護法」の内容に関して大きな相違はなく、経歴も不透明のまま改正されていました。1948年の成立後、幾度かの改正を経て、1996年に一部改正する法律が施行、「母体保護法」に名称改正されました。その際に「強制断種」等の条文が削除されました。



「優生保護法」の主な目的は、①不良な子孫の出生を防止→「断種」、②人口増大の抑制→妊娠中絶の規制緩和であり、この施策の契機は「優生思想」に基づくものです。「優生思想」とは人間の淘汰(不必要な要素を取り除く)を生まれる前に完了すること、その意識の中で、積極的な推進活動で断種措置や堕胎措置など広がりました。しかし、「不良な子孫の出生を防止する」という目的は障害のある人に対する異なる扱いであり、これが差別問題となったのです。しかし、沖縄県でのケースは1つも見出せなく、事実を追求するには思慮が求められます。しかも、障害者差別問題のみでなく、人格尊厳や人権尊重の意味で、うやむやにされ、人目に触れないまま風化させてもよいのでしょうか？事実として掘り起こす作業も必至です。

執行部として今後も継続する方向で、事例体験を主にする講義と手話通訳者のスキルアップをさせることでまとめました。

沖縄県障害者社会参加推進協議会

【沖縄県障害者社会参加推進センター】

障害者及び障害児が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう地域の特性や利用者の状況に応じた柔軟な事業を実施し、障害の有無に関わらず安心して暮らすことのできる地域社会の実現に寄与することを目的としています。

平成30年11月21日(水)沖縄県総合福祉センターにて、平成30年度沖縄県障害者社会参加推進協議会及び専門部会を開催しました。

この協議会は、沖縄県障害者社会参加推進センターの事業実施に関する企画、立案及び必要な協力を行うため、障害者福祉関係行政機関、各種身体、知的及び精神障害関係団体の代表者、障害の専門性に対応する部会委員で構成されています。



協議会では、各障害別団体から地域生活支援事業等の社会参加推進に係る報告が行われました。

意思疎通支援においては、手話通訳と要約筆記の依頼件数が増加する一方で、通訳者不足と将来的な人材確保が大きな課題となっていること。また、社会参加支援に関わる県広報誌の点字版・音声版発行については、全記事を訳することが出来ず抜粋版となっているなどの説明がありました。

芸術文化においては、年々レベルアップする一方で支援スタッフの処遇改善が課題となっていることが報告されました。障害者スポーツにおいては、普及と推進に関わる活動報告があり、また、練習施設が無い現状について意見がありました。日常生活支援においては、声帯を失った方から相談を受ける際、音声機能発生訓練のことを知らないことが多々あることや、障害者相談に関わる説明では、障害のある人同士によるピアカウンセリングの必要性と、各市町村におけるピア相談活動の場の減少について報告がありました。

『障害者110番』相談受付件数

① 年度別、月別・障害別相談件数 (単位:件)

	身体 障がい者	知的 障がい者	精神 障がい者	不明 ・他	計
4月	3		29	3	35
5月	9		66	3	78
6月	8		57	3	68
7月	3	1	58	6	68
8月	4	1	64	9	78
9月	2		67		69
10月	4	1	32	7	44
11月	5	1	60	3	69
合計	38	4	433	34	509

② 年度別、月別・内容別相談件数 (単位:件)

	① 人権 問題	② 生活 支援	③ 医療 ・福祉	④ その他	計
4月	11	15	8	1	35
5月	12	43	19	4	78
6月	8	45	13	2	68
7月	5	34	22	7	68
8月	21	36	14	7	78
9月	6	40	15	8	69
10月	15	10	12	7	44
11月	17	25	23	4	69
合計	95	248	126	40	509

障害者110番

障がい者の人権を守り、生活を支援します

◆ 相談日：月曜日～金曜日 9:00～17:00

【相談内容】

人権問題・生活支援・医療福祉・その他障がい者自身または家族、友人や知人で悩んでいる方、困っている方などの相談。

あなたの近所の方で悩んでいる、困っている方などの情報をお気軽にご相談ください。

※ 秘密は守ります。相談は無料です

【問い合わせ先・連絡先】

◆ 電話(FAX 兼用):098-851-3910

◆ メールアドレス:jimukyok14@okisin.jp

〒901-0516 沖縄県島尻郡八重瀬町字仲座 1038 番地 1

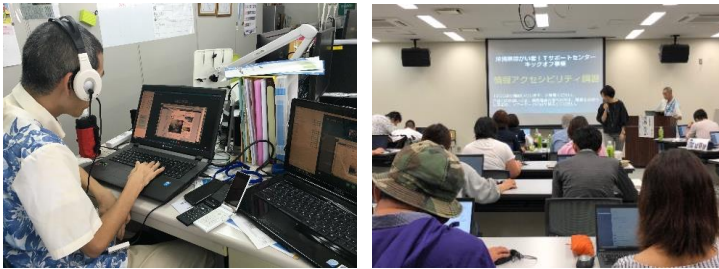
(沖縄県障害者社会参加推進センター 相談室)



『沖縄県障がい者ITサポートセンター』が開設しました!

ICT(情報コミュニケーション技術)を通じて、障がいがある方の社会参加や情報バリアフリーを推進する目的で、「ITに関する相談」「講習会・セミナー」「情報支援機器の体験・貸出」「テレワーク(在宅就労)支援」を主な事業としています。特定非営利活動法人沖縄県脊髄損傷者協会が沖縄県受託事業として平成30年8月に開設しました。

ITの相談支援として、パソコン等の情報通信機器の利用方法や支援機器の提案、障がい者へのパソコン等の講習会を実施します。



講習会・セミナーの実施として、障がい者を対象としたアクセシビリティ及びパソコン講習や、障がい者へのICT活用に関するITサポーター(ボランティア)養成のための講習会を開催し、登録したITサポーターによる相談・支援を実施します。

情報支援機器の体験・貸出では、センター内に情報支援機器の展示・体験コーナーを設置し、見て、触れて、使ってみて、ご自身にあった適切な支援機器の選択につながるように支援します。また、必要に応じて貸出も致します。

テレワーク(在宅就労)支援としては、身体障がい等により、通勤を伴う就労や、終日の職務が困難な人たちに対して、IT環境を利用した在宅での働き方としての「テレワーク」を推進するため、テレワークに関心のある障がい者を対象に講習会等を開催します。またテレワークでの障がい者雇用を促進するために企業採用の創出支援を進めます。

どんどん進歩するICTを活用し、障がいのある方がより社会に参加しやすい環境づくりを目指します!



沖縄県障がい者ITサポートセンター
 電話：098-911-1930
 FAX：098-961-6716
 WEB：<https://o-it.jp>
 Facebook：facebook.com/okinawa.itsupport/

音声機能障害者発声訓練及び個人指導・その他発声相談等の追加開催について(お知らせ)

毎月第1～4土曜日に開催しています発声訓練に加えて、毎月第2木曜日に「個人指導・その他発声相談等」を開催しております。

開催日	会場
毎月第1～4土曜日 (14:00～16:00)	沖縄統合医療学院(2号館)
毎月第2木曜日 (14:00～16:00)	浦添市ショッピングセンター 3階コミュニティサロン あなたのわくわく来楽歩

※祝祭日は全教室お休みです。
 訓練教室講習料・駐車場：無料

くちびるのことば、こころに響く
発声教室

【問い合わせ先】

・社会福祉法人 沖縄県身体障害者福祉協会
 TEL：098-851-3455
 FAX：098-851-3855
 E-mail：jimukyok21@okisin.jp

・沖縄県友声会 会長：田名 勉
 (代行連絡先：阿波連)
 TEL：090-9887-4043
 E-mail：okinawan_aloha@live.jp



平成30年度 障害者110番事業研修会

平成30年8月3日に「平成30年度 障害者110番運営事業研修会」が衆議院第二議員会館で開催され、沖縄県からは2名が参加しました。

前半は、大胡田誠 弁護士による「全盲弁護士の対話術～障害理解の牽引者への期待～」という題目で、これまでの弁護士活動を通して、相談者との基本的な対話方法や、相談者との信頼関係を築く際に気をつけていること等についてのご講話がありました。

相談支援を行う際には、「相談者に寄り添いながら傾聴・支援を行う姿勢が重要である」ということ、また、合理的配慮や差別に関する事例についても「建設的な対話」をお互いに重ねながら、合理的配慮や差別の解消について検討・実施していく必要があると学ぶことが出来ました。

後半は、全国の相談員と意見や情報交換を行い、「110番相談は適切な相談機関へつなげる・情報提供が重要」等、今後の相談活動において参考になる意見も多く充実した研修となりました。



第54回 沖縄県身体障害者スポーツ大会

第54回を迎える平成最後の沖縄県身体障害者スポーツ大会は、昨年度から100名あまり増加した述べ759名の参加申込がありました。

例年、陸上競技と同日に行われていたフライングディスク競技は、9月1日(土)に(沖縄県総合運動公園レクドーム(室内))で行い、ディスクがアキュラシーゴールを通過するたび大きな歓声と拍手が飛び交い、とても賑やかな競技会となりました。



また、9月15日(土)には、卓球・水泳競技会(沖縄県総合運動公園メインアリーナ他)や、9月23日(日)にはアーチェリー競技会(沖縄県立鏡が丘特別支援学校)がそれぞれ行われ、どの競技も多くの観戦者が見守るなか、白熱した戦いをみせていました。



10月6日(土)糸満市西崎運動公園で予定していた本大会(開閉会式・陸上競技)は相次ぐ台風発生の影響が大きく、安全面を考慮したうえでの中止となりとても残念でしたが、開催にむけてご協力頂いた各団体や運営役員、多くのボランティア、その他関係者の皆さまのご協力、本当にありがとうございました。選手の皆さん、次年度の大会に向けて頑張ってくださいませ!



第18回全国障害者スポーツ大会 福井しあわせ元気大会



第18回全国障害者スポーツ大会(福井しあわせ元気大会)が平成30年10月13日~15日の3日間、福井県営陸上競技場(9.98スタジアム)を主会場に開催され、沖縄県から個人競技に31名、団体競技20名の選手と役員総勢82名が5泊



6日のスケジュールで大会に挑みました。

那覇空港ウェルカムホールでの結団式では、東江美波選手(3年ぶりの全国出場となる知的障害者バスケットボール女子チーム主将)が決意表明を行い、「全国での初勝利」を掲げました。宣言通り初戦を勝利で収め、勢いそのまま見事3位入賞を達成し、銅メダルを獲得することができました。

陸上競技が行われた9.98スタジアムは、あの桐生祥秀選手が日本人初の100m9秒台を打ち出した場所でもあり、同じ会場で走れることに緊張と期待を胸に挑んだ選手達はとても誇らしく、清々しい表情で笑顔があふれていました。

陸上競技が行われた9.98スタジアムは、あの桐生祥秀選手が日本人初の100m9秒台を打ち出した場所でもあり、同じ会場で走れることに緊張と期待を胸に挑んだ選手達はとても誇らしく、清々しい表情で笑顔があふれていました。



金2個、銀10個、銅14個、合計26個と過去最多のメダル獲得となり、開催県の運営役員・ボランティアの皆さまのおかげで、無事全日程を終えることが出来ました。惜しくもメダルに届かなかった選手も、全国の舞台を体感できた収穫は大きいと思います。選手・役員の皆さま、大変お疲れ様でした。



来年度は茨城県にて『いきいき茨城ゆめ大会2019』が10月12日(土)~14日(月)の期間で開催されます。

おきしんきょう通信



— 沖縄県身体障害者福祉協会 —

経営理念

一、利用者本位

一、社会貢献

一、責任と実行

第52回 沖縄県身体障害者福祉大会

平成30年12月8日(土)、与那原町観光交流施設を会場に第52回沖縄県身体障害者福祉大会を開催し、約335人の関係者が集いました。



オカリナサークル久音の会、知念高校なぎなた部のオープニングアトラクションで幕を開けた本大会の第一部 式典では、長年に渡り身体障害者福祉事業に尽力された方への表彰や、第58回沖縄県身体障害者福祉展の入賞者への表彰(表彰者の一覧は右枠のとおり)に加え、大会宣言の決議が行われました。



第2部 講演会では特定非営利活動法人 沖縄県脊髄損傷者協会 理事長の仲根建作氏に『ITを活用した働き方』という演題のもとで、ICT(情報コミュニケーション技術)とは何か。国における働き方改革について、ピアサポートから見えたことなどを、実際にSkype(スカイプ)を用いた遠隔通信を行いながら講演をしていただきました。



第52回沖縄県身体障害者福祉大会 表彰者一覧 (敬称略)

身体障害者福祉事業功労者 (4名)

- ・山田 親幸
- ・金城 米男
- ・宮城 誠
- ・高江洲 たつ子

身体障害者福祉事業特別永年勤続功労者 (6名)

- ・富名腰 望
- ・伊波 普猷
- ・仲田 美和子
- ・神谷 ひとみ
- ・仲本 潔
- ・伊佐 直樹

身体障害者福祉事業永年勤続功労者 (38名)

- ・島袋 淳
- ・佐藤 紗弓
- ・知名 とも子
- ・中原 弘道
- ・赤嶺 徳郎
- ・大城 一晋
- ・上原 慶子
- ・恩納 皓全
- ・玉城 幸子
- ・嘉手納 憑治
- ・仲川 福俊
- ・大濱 盛英
- ・豊里 リエ
- ・又吉 里美
- ・楚南 盛章
- ・平良 健康
- ・前田 厚子
- ・松浦 幸恵
- ・大山 祥子
- ・上原 司
- ・玉城 清美
- ・竹下 史彦
- ・仲村 史子
- ・儀保 幸次
- ・安里 宏子
- ・安次富 司
- ・又吉 篤志
- ・玉城 みゆき
- ・宮城 尚
- ・佐久本 里子
- ・義間 道幸
- ・山城 重力
- ・杉本 美喜子
- ・渡久地 盛也
- ・糸数 健治
- ・大城 勝美
- ・末吉 基起
- ・仲田 奈津紀

優良身体障害者援護施設・団体 (1団体)

- ・朗読ぼらんていあ みみずく

自立更生 (1名)

- ・徳元 清勇



～受賞者の皆さん、おめでとうございます～

**本大会は沖縄県共同募金配分金を
受けて開催しています**

第33回 九州身体障害者ゲートボール大会

平成30年10月12日(金)、佐賀県江北町全天候スポーツ広場で、第33回九州身体障害者ゲートボール大会が開催されました。九州各県・政令指定都市から24チーム152名の参加があり、沖縄県からは南城市チームが出場し、健闘しましたが、残念ながら予選敗退となりました。



南城市チームの皆さんお疲れ様でした!

第49回九州身体障害者福祉大会・ 第26回九州ブロック身体障害者相談員研修会

平成30年11月15日(木)・16日(金)ヒルトン福岡シーホークで開催された九州大会に参加しました。「ユニバーサルデザイン2020行動計画の取組みを東京から地方に広げよう」・「障がい当事者として地域防災計画づくりに参画しよう」をスローガンに、15日の第1研究部会では、沖縄県から「災害時に備えた組織強化と果たす役割について」の題目で、糸満市身体障害者協会の豊平朝清 会長の発表がありました。

翌16日は、第1部式典にて大会表彰、第2部に『バリアバリュー～障害を価値に変える～』と題して株式会社ミライロ社長の垣内俊哉 氏の講演が行われました。第3部の議事では、研究部会報告、大会宣言、決議が採択され大会は閉会しました。次年度は佐賀県での開催になります。



第12回 九州身体障害者グラウンド・ゴルフ大会

平成30年11月2日(金)、ぎのわん海浜公園多目的広場を会場に、第12回九州身体障害者グラウンド・ゴルフ大会を開催しました。九州各県・政令指定都市より26チーム139名の選手が競技に挑みました。



会場は終始おだやかな雰囲気、各コートからホールインワンを決めた歓声や、拍手が聞こえていました。

沖縄県からは県大会上位5チーム(読谷村・うるま市AB・沖縄市・南城市)が出場し、2ラウンドをプレーしましたが、優勝には届かず、読谷村チームの団体5位が最高位となりました。団体及び個人成績(上位3位まで)は以下のとおりです。

団体の部

- 優勝 隼人姫城 (鹿児島県)
- 準優勝 阿蘇市身体障害者福祉協会 (熊本県)
- 3位 福岡県筑紫野市身障協会 (福岡県)

個人の部

- 優勝 渡辺利春 (大分県)
- 準優勝 斉藤秀一 (福岡市)
- 3位 福重ユキエ (鹿児島県)



10年に1度の九州大会で、運営もぎこちない状態でしたが、参加団体の皆さんから「楽しかったよ」という声も聞くことができ、ホッとしました。関係者の皆様、御協力ありがとうございました!

会員募集

当法人の障害福祉事業は補助金や委託金、寄附金や皆様の会費をもって実施しています。

種類	年会費
企業会員A	100,000円
企業会員B	50,000円
特別会員A	30,000円
特別会員B	20,000円
賛助会員A	10,000円
賛助会員B	5,000円
賛助会員C	3,000円

